



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〔第三九二号〕

清明 せいめい

四月五日

## 伊勢志摩の椿油

伊勢志摩の春を代表する花に、椿があります。とくに伊勢神宮内宮から南伊勢町へ抜ける剣峠つるぎのとうげや、鳥羽から志摩へ抜ける崖道は古くからやぶ椿が見られます。伊勢志摩で詠まれた俳句があります。

満山の椿や咲かむ神の山

中村汀女

風除の椿咲きけり村芝居

中桐晶子

どこまでも崖どこまでも落椿

樋笠 文

汀女ていじょの句は、伊勢の剣峠で、晶子は志摩の安乗崎あのりざきで詠まれたものとわかっていますし、文のものも鳥羽か志摩半島の海辺で詠まれたものでしょう。銘木や珍木の椿もいいですが、野や山に自生するやぶ椿の素朴な美しさにも惹かれます。

椿は花を觀賞するだけでなく、秋になる実(種子)からは油を製し、堅牢な材は農具や楽器に珍重されてきました。とくに乾燥させた実から压榨法あつぎくほうにより採取した椿油は、空气中に放置してもほとんど蒸発することなく、水に溶けないオレイン酸が九割を占める油です。凝固点きょうこてんが最低マイナス二十五℃と低く、さらっとしています。伊豆大島や九州南部が産地として知られますが、古くから髪油として用いられてきました。私も椿油は髪につけるなど愛用しているのですが、鳥羽で作られている椿油を知りました。「伊勢志摩 椿油」は压榨法を用い、混ぜ物はせずに作ったしぼりたての純椿油で、個人で作っているため量産しておらず、貴重なもの。熱を加えていないため、ほかの市販品より柔らかい黄色をしているのが特徴です。手にとってみると、さらさらとして、すっきりとした使用感があります。海女さんに聞くと、海女漁に椿油を使うことはないが、若い頃は髪につけていたと教えてくれました。おかげ横丁の「しろがね屋」で販売しています。一度、お試しあれ。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○ 阿部夫美子 和紙夢現展

伊勢の地で独自の美の世界を創造し続ける和紙人形作家・阿部夫美子さん。  
今までに作り上げてきた作品から、約40体の和紙人形を展示いたします。  
和紙人形が放つ、気高さ、優美さ、力強さ。また、日本人としての感性に従って、生み出された色の取り合わせは、まるで夢か幻を見るような神話の美の世界です。  
さまざまな和紙人形の世界をお楽しみください。

と き／3月18日(土)～4月16日(日) 10:00～17:00

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」 入場無料

### ○ 第三回 三重のもめん展

三重県指定伝統工芸品の「もめん」。  
三重県は古くから木綿織物業が盛んでした。  
木綿の魅力を発信します。

と き／4月6日(木)～4月19日(水)

ところ／赤福 本店別店舗

#### 【三重のもめんを使った箱鈴づくり体験】

と き／4月8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日) 9:00～17:00

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

## 五十鈴塾

### ○ 中国茶を楽しむ

いつも美味しくて楽しい中国茶講座。須永先生のお店で二種類のお茶をいただきます。  
まずは西湖龍井茶、ヒスイ色でビタミンCを含み美容効果あり。  
もう一つは見た目も美しい工夫花茶でストレス解消に。  
先生おすすめのお茶とワンプレートランチでリフレッシュしてみませんか。

と き／4月12日(水) 12:00～14:30

講 師／須永 知佐 (中国茶茶房「茶KURA」オーナー)

参加費／一般 3,700円 会員 3,200円 (食事代・茶菓代含む)

場 所／12:00に「茶KURA」集合

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

## 五十鈴茶屋

### ○ 五十鈴茶屋節気菓子

はな いかだ 川面に舞った桜が、岸辺に着かず離れず筏のように浮かび、流れにまかせて  
花 筏 漂い続ける、古人も詠んだその風景。  
粒餡を包んだ求肥に桜の姿をとどめて、花のなごりに思いをこめました。

こちょう まい 神宮では毎年四月、神恩に感謝を捧げ、国民の平安を祈る、春の神楽祭が  
胡蝶の舞 行われます。  
古式ゆかしく演じられる「胡蝶」の舞の装束を白あんを包んだ羊羹で表現しました。

じんぐう 神宮にもつつじが咲く頃となりました。  
神宮つつじ 山芋あんのきんとんで粒餡を包み、木々の緑と赤いつつじが見せる鮮やかな色彩を表現しました。